



# アルミと樹脂の複合サッシ シンフォニー 連窓方立180° 組立て説明書

## ■組み立てられる方へお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。  
**▲注意**…取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

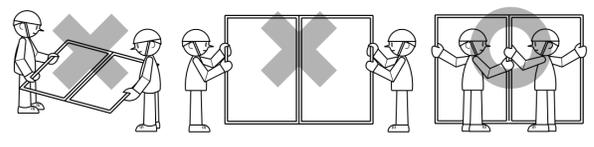
**▲注意**  
 ●下記項目は、漏水の原因になるおそれがありますのでご注意ください。  
 ・指定箇所には必ずシーリング材(別途)を充て込んでください。  
 ・連窓方立に張り付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。  
 ・浴室には使用しないでください。  
 ・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。  
 ・ねじは2.5±0.5N・m (25±5kgf・cm) のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

## ■組立て上のお願

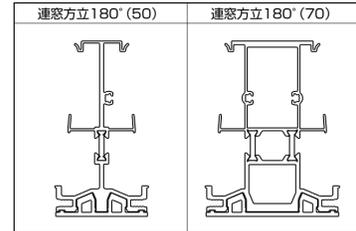
- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
- 連窓後の取付けは、「連窓方立取付け説明書」を参照してください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず施工される方へお渡しください。
- テラスドアには連窓方立180°(70)を使用し、つり元は躯体側にしてください。つり元を連窓方立側にするると、衝撃により連窓方立が変形するおそれがあります。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



## ■連窓方立180°の種類



## ■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いないよう使用してください。

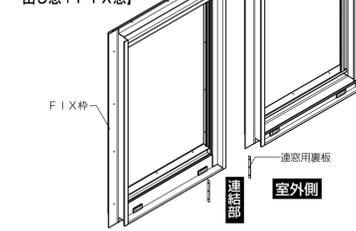
①	②
M4×10mm小ねじ	φ4×20mmバケツピンねじ

## ■組立て順序

### 1 連窓用裏板の取付け

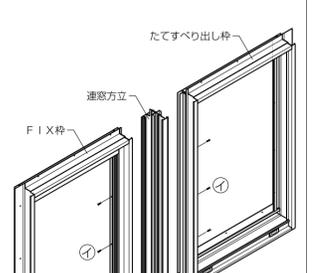
●連結部上下(室内側)に連窓用裏板を入れ、枠をそれぞれ組み立てます。

【組立て例：たてすべり出し窓+F1X窓】



### 2 連窓方立との連結

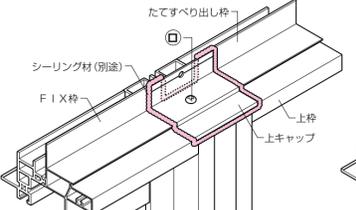
①連窓方立をF1X枠にはめ込みます。  
 ②たてすべり出し枠を連窓方立にはめ合わせ、穴をすてねじ止めします。



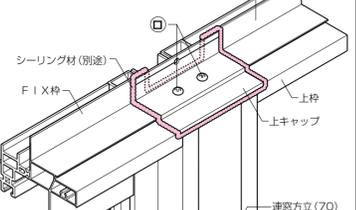
### 3 上・下キャップの取付け

●連結部の上・下にキャップを取り付けます。  
 ※キャップには上・下がありますので確認してください。

【連窓方立(50)タイプ】



【連窓方立(70)タイプ】



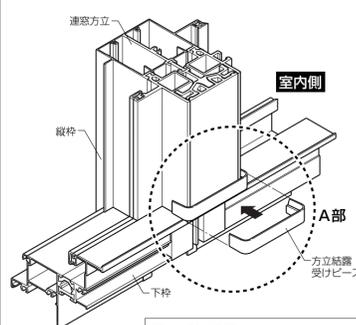
**▲注意**  
 ●上・下キャップ取付け後、指定箇所( )にシーリング材(別途)を充て込んでください。

**▲注意**  
 ●排水経路を確保するため、下キャップの前面部にはシーリングをしないでください。

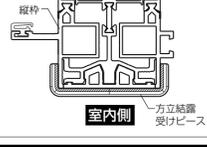
### 4 方立結露受けベースの取付け

①方立下端(方立結露受けベース接着面)のゴミを取り除きます。  
 ②方立結露受けベース内側のリキレ紙をはがします。  
 ③方立結露受けベースを指で2~3回方立に押し付けて接着させます。  
 ※図は連窓方立(50)タイプで説明していますが、連窓方立(70)タイプも同じ要領で取り付けください。

#### ■方立結露受けベース



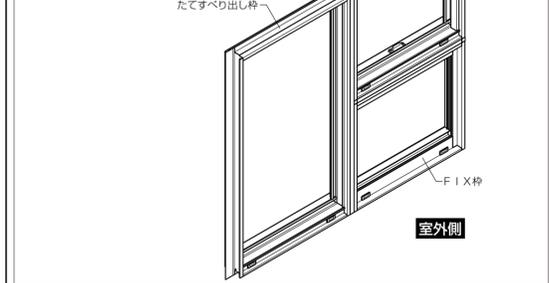
#### ■A部詳細図



## ■連窓窓の場合の組立て順序

### ■組立て完成例

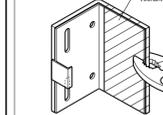
※障子・ガラスは、枠を躯体に固定した後に入れてください。



### 1 段窓部の組立て

※詳細は、「段窓無目組立て説明書」を参照してください。  
 ①連結部上下(室内側)に連窓用裏板を入れて組み立てます。(組立て詳細1参照)  
 ②連結部の縦枠フィンを取り取ります。(組立て詳細2参照)  
 ③段窓無目外側カバーの連結部のフィンを取り取ります。

#### ■B部詳細図



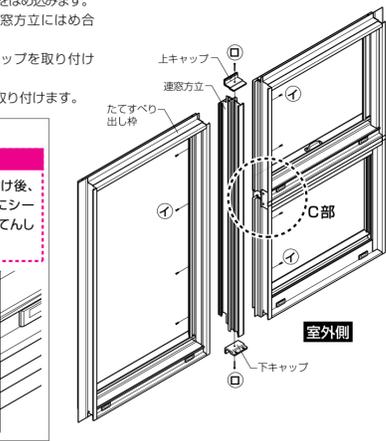
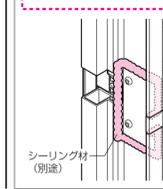
### 2 連窓方立との連結

①段窓の縦枠材に連窓方立をはめ込みます。  
 ②たてすべり出し枠を連窓方立にはめ合わせ、ねじ止めします。  
 ③連結部の上・下にキャップを取り付けます。  
 ④方立結露受けベースを取り付けます。

#### ■C部詳細図

##### ▲注意

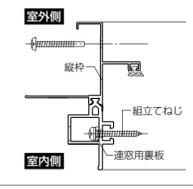
●段窓無目カバー取付け後、指定箇所( )にシーリング材(別途)を充て込んでください。



## ■組立て詳細

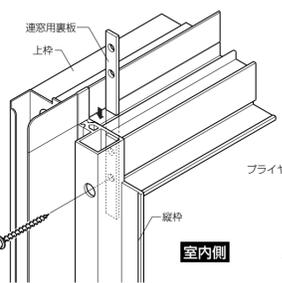
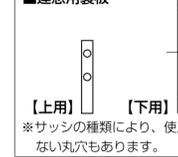
### 1 連窓用裏板の取付け

※連窓用裏板は、連結部の強度を確保するため、必ず取り付けてください。テラスドア(単純段差除く)は、あらかじめ裏板を取り付けてありますので連窓用裏板は不要です。  
 ①連結部上下(室内側)に連窓用裏板を入れます。  
 ②連窓用裏板の丸穴と縦枠の組立て穴を合わせてねじ止めします。  
 ③上下枠・縦枠を組み立てます。  
 ※連窓用裏板は上下で異なります。上用・下用を確認して取り付けてください。



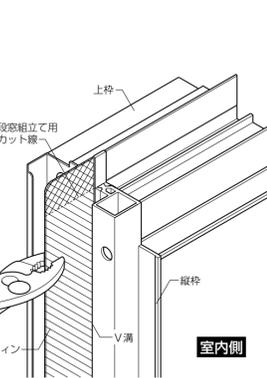
**▲注意**  
 ●ねじは2.5±0.5N・m (25±5kgf・cm) のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

#### ■連窓用裏板



### 2 縦枠フィンのカット

①連結部の縦枠フィンのV溝にカッターで1~2回スジをつけます。  
 ②プライヤーで、部品の順に折り曲げながら取り除きます。



### 3 連窓方立との連結

※図は連窓方立(50)タイプで説明していますが、連窓方立(70)タイプも同じ要領で取り付けてください。  
 ※連結前に、連窓方立の上・下を確認してください。

